



第44回 いちのみや美術作品展

主催 一宮文化協会

平成30年11月3日(土・祝)

午前9時から 午後4時
はりま一宮小学校 体育館
入場無料

日頃から、美術作品づくりに励んでおられる皆さんの力作を一堂に集めた展示会です。書、絵画、工芸に手芸、生花など多岐に渡る作品をぜひご鑑賞ください。

[お茶席のご案内]

同会場にてお茶席が行なわれます。
お気軽にお立ち寄りください。

午前9時から
(※午後2時30分終席)
料金 300円



※写真は第43回いちのみや美術作品展の様子です



センターいちのみや開館日

10月		×は休館日				
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11月		×は休館日				
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

◆ 開館時間 ◆

《 図書室 》
9:00~17:00
《 貸 館 》
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~22:00

【休館日】月曜日・祝日

※月曜日が祝日の場合は、翌火曜日も休館となります。

【発行】

宍粟市教育委員会
社会教育文化財課
一宮生涯学習事務所
TEL 72-2330
FAX 72-0541
宍粟市一宮町東市場 387-9
(センターいちのみや内)





9月28日・29日に、平成30年「兵庫県学が高齢者のつどい」中・西播磨ブロック大会が福崎町にて開催され、写真教室より2名の方が入選されました。おめでとうございます！！

入選作品
(写真部門)

石原照久さん 題名「時を止めて」
浦上譲二さん 題名「瞬光に輝く」

入選された作品は、11月30日(金)に加東市の嬉野台生涯教育センターにて開催される中央大会へ出品されます。

9月13日(木) いわみ学園9月講座 「高齢者のための交通安全教室」



さわ さとし きみなみだいじ
宍粟警察署交通課長の澤 聡さんと同交通総務係長の木南 泰治さんにお越しいただき、交通安全教室を実施しました。

毎年実施している交通安全教室ですが、今年に入ってから宍粟市内で6人もの方が交通事故で亡くなられ、宍粟市内全域で「交通死亡事故多発非常事態宣言」が出されているということもあり、受講生の皆さんは真剣な表情で聴講されていました。



「テレビのニュースや新聞で知った事故のことを、他人ごとだと思わず自分のことだと思って、交通安全についてもっと真剣に考えて欲しい」と話されました。リスクを減らそうと思いながら集中して運転すれば、とても疲れるはず、車の運転を楽なものだと思っはいけないとも言われました。

指示キーを早めに出す、黄色信号の意味は「止まれ（安心に停止できない場合に限って進むことができる）」であり、決して「急いで進め」というわけではない、歩行者目線で運転をするなど、運転をするうえで、おろそかにしがちなことを、改めて学ぶことができました。

後半では受講生の代表として3人の方が、自動車運転シミュレータの体験をしました。車同士が衝突しやすい駐車場や、運転が困難な雪道など、事故が起きやすい場所の運転体験をし、注意点や、見落としがちな点を木南さんに教えていただきました。木南さんは最後に「大切なことは、慣れている道でもきちんと確認をする。知っている道だから大丈夫だろうと、自分を過信してはいけない」と言われました。宍粟市が事故のないまちになるよう、ひとりひとりが交通安全について真剣に考える良い機会となりました。



少しの注意で防げる事故もあります！



歩行者

- 道路を横断するときは「止まる・見る・待つ」
- 夜間に出かけるときは「明るい服装」で「反射タスキ」など自動車に気付いてもらえるようなものを身に付けましょう



ドライバー

- 夜間は「ハイビーム」を活用しましょう
- 横断歩道は歩行者優先
歩行者がいる場合は停車しましょう
- 歩行者の横を通過するときは、「安全な間隔をとること」「徐行すること」を意識しましょう



「玩具に見る子育ての習俗」



おさきあやめ

日本玩具博物館の尾崎織女さんに、「おもちゃ」の歴史について講演していただきました。

「おもちゃ」と言う言葉は、江戸時代、庶民の間で使われていた「手あそび」「手まもり」「もちゃそび」という話し言葉が由来だといわれているようで、遊んで楽しむ、飾って楽しむだけでなく、子どもの身を守るため、幸せを呼び込むためなど、お守り的な役割も持っていました。例えば「でんでん太鼓」の音には赤ん坊に近づこうとする魔を追い払う効果があり、「犬張子」は安産を守護する役割を担っていたといわれています。しかし、明治時代、世界と渡り合える近代国家になろうという国の動きから、近代的な子どもを育てるため、迷信的なもの、まじないの要素の強いものは排除しようと、郷土玩具は退けられ、機関車のおもちゃなど教育的玩具

(近代玩具)が作られるようになり、郷土玩具は廃れていきました。

「今のおもちゃには今の文化を取り入れたからこそその良いところがある。そこへ、昔のおもちゃの良さを取り入れて欲しい」と尾崎さんは言っておられました。

尾崎さんはたくさんの貴重な郷土玩具を紹介していただき、遊び方を実演してくださいました。

多彩な姿を見せるおもちゃの数々に受講生の皆さんから大きな歓声が起こり、会場はとても盛り上がりました。



アンケートより抜粋

- とても面白く、良かった。
- 外見だけでは解らない奥深さがわかり良かった。子を思う親の気持ちが込められ身近な材料で工夫されており、暖かさが伝わって良かった。
- 古き良き時代にタイムスリップしました。すごく幸せな時間でした。

いわみ学園クラブ発表会

平成30年11月17日(土)

センターいちのみや

午前9時から午前10時



- 発表会 (ホール)
歌謡クラブ
コーラスクラブ

- 茶道クラブによるお茶席
(第2会議室)



午前10時15分から

- 映画会「天地明察」
※字幕あり

～ あらすじ ～

江戸時代に日本独自の暦作りという一大プロジェクトに挑んだ実在の人物・安井算哲(後の渋川春海)が、師や友人、妻のえん、良き理解者であった水戸光圀に支えられながら、難関に立ち向かっていく様を描いた感動時代劇。

図書室だより

【新着図書紹介】※新着図書の一部です

書名	著者名	書名	著者名
ブロードキャスト	湊かなえ	鳥居の密室	島田荘司
蝶のゆくへ	葉室 麟	悪魔と呼ばれた男	神永 学
夜の側に立つ	小野寺史宜	ふたりぐらし	桜木紫乃
能面検事	中山七里	牧水の恋	俵 万智
悪玉伝	朝井まかて	HIGUCHI 式頭筋ストレッチ	樋口賢介
向日葵のある台所	秋川滝美	詳しくわかる脳梗塞の治療と安心生活	—
星をつなぐ手	村山早紀	樹木たちの知られざる生活	ペーター・ヴォールレーベン
歪んだ波紋	塩田武士	動物たちの内なる生活	ペーター・ヴォールレーベン
愛なき世界	三浦しをん	砂糖・牛乳・卵を使わないおいしい甘酒レシピ	金丸絵里加

【今月の展示コーナー】

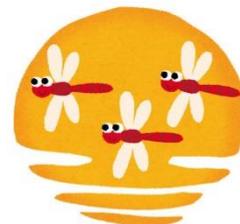
今月のテーマ ◎芸術の秋◎

あなたの「〇〇の秋」はなんですか？
今回は「芸術の秋」をテーマに本を集めました。芸術にふれ感性を磨こう♪



- ◆『はじめての茶の湯』
- ◆『竹組み工芸』
- ◆『山野草の水彩画』
- ◆『京都日常花～市井のいけばな十二月～』
- ◆『書道 お手本万葉集』
- ◆『筆ペンからはじめる 水墨画』
- ◆『ニャンとも可愛い 猫の絵手紙』

ほか



【移動図書館 ～ささゆい号～】 【えほんのじかん】

11月10日(土) / 12月15日(土)

※11月は第2土曜日です。12月は第3土曜日です。

場所	はりま一宮学童	三方げんき学童	センター繁盛
時間	9時15分～ 9時45分	10時10分～ 10時40分	11時～ 15時

日時：10月27日(土)

午前10時30分～11時

場所：センターいちのみや

運行状況により、予定時間が前後することがあります。
また、天候などにより、やむなく中止する場合には、
しーたん放送でお知らせします。

電話 72-0090 FAX 72-0541

お子さんを対象とした絵本の読みきかせを
します！申し込みはいりませんが、時間に
遅れないようお越しく下さい。